

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	027 文書等の收受・集配事業					
予算科目	01-020101-12 通信運搬に要する経費			担当部課	総務部すぐ対応室	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市行政文書管理規程			SDGs	08働きがいも経済成長も	
					11住み続けられるまちづくりを	
					12つくる責任つかう責任	

## 事業の概要

対象	市民、職員
目的	市へ届いた郵便物等の適正な收受及び各課への迅速かつ確実な配布を目的とする。 各課から発送される郵便物の請求を一括処理することにより、郵便料金の把握及び経費削減を図る。
概要 (取組内容)	市へ届いた郵便物及びメール便を到達日で適正に收受し、本庁舎文書集配室内各部ボックスへ配布する。 本庁舎と各窓口センターとの間を1日1回巡回し、文書集配を行う。 予算を保有する課へ支出伝票の作成を依頼する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	14,837	13,721	14,957	0	
	決算額	(千円)	6,954	16,739	13,071	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6,954	16,739	13,071	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	12,397	6,938	6,949	7,029	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.80	1.00	1.00	1.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	76.00	56.00	47.00	80.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	有	有	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルス関係で、発送郵便物が増えると予想されたため、レターパックや同じ住所・宛名の郵便物は集合発送で対応し、郵便後納料金の削減に努めた。	
成果	郵送により市に到着した文書及び各課への仕分け、書留等の收受及び配布等が適正に対応できた。	
課題	業務	今年度は減少したが、年々増大している文書集配業務の発送郵便物及び收受郵便物に対する対応が課題となる。
	組織、予算等	総務費予算計上分の料金後納郵便料については、当初の予定額では上限額であるが、実績において上限額を超えてしまう課が多くあった。予定額が上限額を超え自課で予算化した事業について、翌年度の予定額が上限額未満の場合は引続き自課予算で対応する等の周知が必要となる。
改善目標	増大する発送郵便物については、郵便料金計器等を活用する等、最善の対応を考える。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	037 スズメバチ駆除業務委託事業					
予算科目	01-020101-18 すぐ対応室に要する経費			担当部課	総務部すぐ対応室	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	全て委託	
個別計画	スズメバチ営巣駆除			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	08働きがいも経済成長も	
					11住み続けられるまちづくりを	
					12つくる責任つかう責任	

## 事業の概要

対象	市民
目的	ハチの営巣を駆除することにより、市民の安心安全（アナフィラキシーショックの防止、抑止等）を確保し、生活環境の向上に寄与する。
概要 (取組内容)	市民からのハチの営巣の駆除依頼に対し、ハチ駆除業者に委託し駆除を行う。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	6,305	6,267	10,017	0	
	決算額	(千円)	5,162	7,456	5,312	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,162	7,456	5,312	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	12,549	6,800	6,834	6,834	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.85	1.00	1.00	1.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ及び広報紙での情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	ホームページ及び広報紙での情報発信
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	スズメバチの巣の駆除委託 ( 件 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	499.0	834.0	550.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	R02年度はすべてのハチの巣の駆除件数、R03年度についてはスズメバチと通学路等の特に危険性の高い場所のアシナガバチの営巣駆除数。						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	スズメバチ及び通学路等の特に危険性の高い場所のアシナガバチの営巣駆除を行った結果、予算内での営巣駆除事業を行うことができた。ハチ営巣駆除繁忙期の職員不足及び、業務移管については引続き課題となる。	
成果	スズメバチ及び特に危険性の高い場所のアシナガバチの営巣を駆除することにより、市民の安心安全を確保し、生活環境の向上に寄与した。	
課題	業務	6月から10月にかけての繁忙期の職員不足が課題となる。
	組織、予算等	すぐ対応室は郵便及び文書集配業務も行っているため、個室になっている。来庁者対応のためのカウンターもないため、ハチ営巣駆除の他部署への移管を検討する必要がある。
改善目標	スズメバチ及び市民から要望の多いアシナガバチの営巣駆除を行う。	

### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

### 方向性

方向性	継続	
理由	スズメバチ及びアシナガバチの営巣を駆除することにより、市民の安心安全（アナフィラキシーショックの防止、抑止等）を確保し、生活環境の向上に寄与するため、撤去委託事業を実施する。	